議 事 録

会　議　名	平成 29 年度第 3 回　介護・医療連携推進会議
開　催　日	平成 29 年 7 月 19 日（水）
開 催 時 間	13 時 30 分から 14 時 30 分まで
開 催 場 所	マナビータ・プラザ　2 階　　会議室
出　席　者	☑　　（市立西脇病院地域医療室） ☑　　（西脇市民生委員・児童委員協議会） ☑　　（介護支援専門委員） ☑　　（西脇市長寿介護課　課長補佐） ☑　　（西脇市社会福祉協議会　訪問看護ステーション） ☑　　（あさひ居宅・アセスメント担当看護師） ☑　　（ヘルパーステーションあさひ、あさひサポートセンター統括主任） ☑　　（あさひサポートセンター管理者兼計画作成責任者） ☑　　（福祉事業部統括次長） ※敬称略
司　　会	
書　　記	
議　　題	1.　開会のあいさつ 2.　出席者自己紹介 3.　６月末日時点のサービス実施状況報告（別紙資料） ・利用者、サービスの提供状況、事例等 4.　在宅での看取り介護、ターミナルケア（事例）についての意見交換 ➢　日中だけでなく、夜間・深夜にも安否確認に来てもらえるから、安心感がある。 ➢　緊急事態での連絡方法は、明確にしておくべきである。 例えば、想定でない事態での救急搬送はするのか、しないのか。 ➢　サービス開始前には、起きるべき事態や予測される事態、事態が起きることで想像以上の辛さは、前もってアセスメントさせていただいている。（訪問看護師） ➢　西脇病院からの理解や周知ができていないことがあり、在宅の主治医や訪問看護に繋げることができていない。「最後の看取りはどうするのか」、「ヘルパーの入りにくい困難ケース」等。 ➢　実際に退院を躊躇われた患者様が、定期巡回を利用され、病院と違ったケアが安心に繋がっている。入院されてもまた、自宅へと帰りたいと希望される。 ➢　連携していない訪問看護事業所が医療で関わってもらっても、アセスメントはしてもらえない。当社のアセスメント担当看護師が行うことに矛盾を感じている。 5.　連携する訪問看護ステーションの普及について ➢　現在、連携先は西脇市社会福祉協議会訪問看護ステーションのみであるが、地域密着型サービスでもあることから、西脇市内にある訪問看護事業所との連携を進めていく。 連携先の普及についての経過は次回の会議にて報告する。 6.　“定期巡回・随時対応サービス　外部評価　”コメントによる改善内容の報告 ➢　利用者ごとの計画目標が達成できるよう、事業所自ら評価したものを照合することに努める。 7.　今後の会議開催予定 ・平成 29 年 10 月 18 日（水）　13:30～予定

あさひサポートセンター